

## 知事と区市町村長との意見交換会(大田区)

令和 2 年 10 月 9 日 (金)

15 時 35 分～15 時 55 分

○**行政部長** それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いをいたします。

○**知事** 今日は直接、都庁の方へお越しいただきまして、ありがとうございます。日頃からいろいろ連携を取らせていただいております。

今日は長期戦略を今策定中でございまして、構造改革を梃子にして新しい日常、サステナブルリカバリーという、それをベースにしながら都としての考え方、また大田区との連携も重要でございますので、直接、現場のお声を伺わせていただくということでございます。限られた時間ではございますけれども、どうぞよろしく願いいたします。

○**行政部長** それでは松原区長、お願いいたします。

○**大田区長** それでは恐縮でございますが、ご挨拶させていただきます。本日はこのような機会を設けていただきまして、ありがとうございます。大田区の新型コロナウイルス対策と区財政の影響について、お伝えをさせていただきたいと思っております。

コロナの拡大によります経済活動の停滞等によりまして、区財政は非常に厳しい状況下でございます。現時点の分析では、今年度からの3年間で約580億円の財源不足になることを想定しております。大体この3年間200億ずつぐらいということです。これはバブル崩壊時の270億、リーマンの時の470億をはるかに凌ぐものというふうに予想しております。

大田区はコロナ対策として、およそ1,500に及びます全事務事業の見直しや、計6回の補正予算、基金の取り崩しによりまして特定財源も含みますが、総計にして約830億円の費用を充てて対応をしているところでございます。

この大変厳しい状況を乗り越えるために東京都と更なる連携を、お話のように進めさせていただくことができればというふうに思います。

意見交換についてですが、大田区からは大きく言いますと3点について、お話をさせていただきたいと思っております。

まず1点目でございますが、地域医療と地域福祉の継続のための支援ということでございますが、まずこれまでも空きベッドの確保のための補助、マスク等衛生品の配布等、東京都からのご支援をいただき、誠にありがとうございます。

地域の医療現場や福祉現場は感染拡大によりまして、感染防止対策等の業務の増加、利用者の減少によります収入減少等、かなり疲弊をしております。これはご承知のとおりだと思います。

区は独自に新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた病院に対する支援や、一時医療である診療所等で患者が安心して受診できる環境整備のための支援を実施しているところ

でございます。

また、福祉サービスを継続して提供できるようにするための支援金の支給を行っているところでございます。

このコロナの現状でございますが、特に大田区では中小零細企業が特に多いわけですが、区内経済対策として、中小企業の方を支援するために、新たな融資制度を創設し、利子補給によります経営支援を行っておりますが、大体これは5,000万が限度額でございます、2,000万前後を借りの方が圧倒的に多いですけども、既に申請数は3,300件を超えております。この斡旋金額がすごくて、およそ700億円に及びます。

そして、区の利子補給金額を、利子補給しますので、その後年度負担額を含めると、およそ45億円の利子補給になります。でもこれで3,300件ですので、大田区の中小企業の町工場を始め何とかここで廃業を免れているかなというふうなことを感じ取れます。

ただ、この借り手で来る方々の職種なんですけど、これが全職種に及んでいます。それで医療関係の方も実は借りていらっしゃるということでございまして、まんべんなく、飲食店をはじめ、非常にそういう状況にあるのかなと思っております。

それから、これは区の制度ではないですけども、社会福祉協議会を通じまして、私どもも応援部隊を出しているんですけど、緊急小口資金と総合支援資金がございまして、これがものすごい勢いでございまして、相談がおよそ4万6,000件、申請が1万3,000件、貸付金額はなんと46億円になります。

これは本当に突然タクシーの方がだめになってしまったとか、飲食店の方が借りに来るということで、これも全職種に及んで。これは要するに小口資金と総合資金、それが尽きますと正直言って生活保護に入っていくという状況になっていきますので、これはリーマンのときは100件しかなかったんですけど、これが今1万3,000件ということですので、その傷の太さというのがよくご理解いただけるのではないかなと思います。

そういう相対的なことも含めまして、東京都におかれましては9月の補正予算で医療機関に対して空きベッドの確保料の補助を計上していただく等、支援をしていただいているところでございますが、継続してのご支援を引き続きお願いをすることができればというふうに思っています。また、併せまして福祉サービスを提供している事業所等に対しても、引き続きご支援のほどをお願いしたいと思います。これが1点目です。

2点目は、これは大変、知事をお願いしてございますが、新空港線、蒲蒲線のことでございまして、新空港線の整備の蒲田駅周辺のまちづくりということでございますが、アフターコロナを見据え、長期的な視点で区の発展の礎となるまちづくりを進めることも重要であります。その一翼を担うのが、新空港線と蒲田のまちづくりと考えております。

鉄道とまちづくりは一体となって行うものだと思いますが、特に現在、新空港線の他に蒲田駅の駅舎、駅ビル、東西の自由通路、駅前の再開発等、一体的に捉えた基盤整備について、これは東京都さんにも入っていただいて、ご参加いただきながら今現在検討をさせていただいているところでございます。

交通結節点である蒲田の拠点性を高めるためにJR東日本、東急と、基盤施設の整備に

向け覚書を締結するなど再開発を含め、本格的にまちづくりを進めて参りたいというふう  
に思いますので、格別のご支援をいただければというふうに思います。

これは JR さんとも東急さんとも、それから駅の周りの外部の方たちとも揃って一緒に  
やろうということで、蒲田の駅周辺が城南地区でかなりの拠点になっていくかなと思って  
います。それと空港等を繋げていくという形なんです。

新空港線につきましては、今年の3月、知事にお会いさせていただきました。その時に  
知事から協議の場ということをご提案していただきまして、9月3日の日、第1回目を開催  
させていただいたところでございます。

そして蒲田のまちづくりと一体となって、我々も進めていきたいと思っておりますが、  
特に今年度内の協議の場の決着が付くように、ぜひともご協議を進めさせていただければ  
というふうに思います。やるか、やらないかということ等も含めて、よろしくお願ひ申し  
上げたいと思います。

それから3点目は、路線バス事業への支援ということでございます。これは4月、5月  
の運送（収入）が、前年と比べてご承知のとおり4割から5割落ち込んでおります。バス  
協会の会長さんも私の所にお見えになられたんですが、やはりバスの減便とか、ダイヤの  
改正、あるいは運休ということになりまして、私どもの大田区は都バスが一つも走ってい  
ないんで、東急さんと京急さんなんですけど、本当に気の毒なくらいに必死な状況でいら  
っしゃいます。

そういったこととございますので、このバス路線というのは他区にもまたがって広域で  
運行していることと、公共交通事業は広域自治体において支援することが望ましいという  
ふうにご存じますので、路線バス等の交通事業者にご支援をお願いすることができればとい  
うふうに思います。

最後にぜひ、これは知事に時間が取れたらお願いしたいんですが、一つは羽田空港の自  
動走行、それが出来上がりまして、9月18日に一昨日、国土交通大臣もお見えにいたしま  
した。

それで最先端技術と最先端の文化、そういったものがここに集積しておりまして、ロボ  
ットだけでも30超えてやらせていただきました。自動走行なんかも現実に走っています  
ので、お時間いただいたら私ご案内させていただきます。よろしくお願ひできればと思  
います。

もう1点、大田区で障がい者総合サポートセンターというのがあるんですが、これは全  
障害を対象としてやるものでございまして、これは23区でも大田区だけがやっております  
（※区立としては、初めて医療的ケアもある重症心身障害児・者を受け入れる短期入所  
を含む多機能的な施設となっております。）。いろんな障害をお持ちの方々がいて、そこ  
で一同に会して（自立のための）いろんなリハビリとか、（診療所機能を活用した重症心身  
障害児者向けの）ショートステイ何かもここでやらせてもらっているんですが、大変めざ  
らしい施設だと思います。そういった意味ではぜひお願ひできればと思います。

東京都さんの方からも一部ご支援をいただいているんですが、大分厳しい状況なもので

すから、もう少し嵩上げしていただければありがたいかなというふうに思っているところでございます。時間が長く経過ということでございますので、恐縮でございますが、よろしくお願ひ申し上げて、一方的に喋りましたけど、よろしくお願ひ申し上げます。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願ひいたします。

○知事 コロナウイルス感染症、毎日陽性者、重症者、それぞれ報告させていただいておるとおりでございますが、それも皆さん現場で、保健所の皆さんも大変な中でご努力いただいているかと思ひます。

それと医療機関は、お話ありましたように、空床を確保していただいて、そのために支払いもいたしておりますのと、あと設備を代えるための設備整備費の補助、そもそも経営基盤、包括的な支援ということで、これまでも臨時支援金を交付等もさせていただきました。

引き続き、病床の確保として、設備整備費ということで行っておりますので、患者受け入れの医療機関の支援は引き続き行って参ります。

それから通常診療を含めて医療提供体制確実にされるように、この支援策の拡充ということについては、国に対しましても要望を出しておるところであります。

そして、また保健所の皆様方にぜひお伝えをお願ひしたいのは、やはりこのところ家庭内感染の部分の比率が高まっているということから、軽症、無症状の方々は状況次第ではありますけれども、ぜひ療養施設を活用していただく、ホテルの方を活用していただくように、ぜひ区長の下にある保健所でもありますので、そこは保健所の方に、皆さんにその旨を、お伝えいただければと思っております。

それによって医療機関のこれだけ3,000床以上確保しているということは、逆に他の疾病の方々がなかなか入院できないとか、そういった問題も生じておりますので、そういう意味でも、ホテルを活用していただくようお願いをいたしたいと思ひます。

それから新空港線については、かねてから関連の区長さんとご一緒に陳情にも来られ、今お話ありましたように、都と大田区との協議の場を先月開始したところでございます。

東急東横線との相互直通運転を通じての国際競争力を高めるという点については、既に国の答申でもその旨が述べられている一方で、関係地方公共団体、鉄道事業所において、費用負担の在り方等については合意形成を進めるべきと、同じところで、答申の中でその指摘をされているところであります。

そういった中で新空港線をよりよい事業プランにするというためにも、蒲田周辺のまちづくり、今進めておられるというお話でございました。都区負担等に関する協議も進めるため、その協議の場を活用していきたいと考えております。

これは、とても素晴らしい所が出来たというので、一度。

○大田区長 はい。ぜひ。

○知事 ロボットがそんなたくさん種類が？

○大田区長 今9月18日から4日間やったわけですけど、38ですかね、ロボットが来まして、いろんなアバターロボットですね、いろんなロボットがござひます。ぜひ楽しみ

に、と。思。つ。て。

自動走行も今回走って行きますので、ぜひお乗りいただければありがたいと思います。

○知事 はい。副知事の方からもお答えさせていただきます。

○副知事 それでは私の方から地域の公共交通についてということでございますけれども、大田区内には東急バスさん、京急バスさんが本当に網の目のような線路をはりめぐらされておりまして、地域交通を支えると承知しているところでございます。

こういったバス事業者さんへの支援につきましては、非常に地域ごとのきめ細かなニーズに対応する必要があるということから、区市町村さんが主体となった取り組みに対して、都が支援するという形になっているところでございます。

コロナ禍の非常に厳しい状況も承知しておるところでございますので、引き続き都としても支援を行って参りたいと思っております。

また、新しい日常における乗客や乗員の安全、安心を確保する観点から、バス車内における感染症対策等につきましても、都として検証を行っているところでございます。この検証結果等も活用しながら、バス事業者さんの更なる取り組みを支援して参りたいと、このように考えております。よろしくお願ひいたします。

○大田区長 バスはどうしても運休とか、間引き運転、これをやらざるを得なくなるというんですけど、これもご承知のとおり、朝はサラリーマンの方が利用する、ただ昼間が圧倒的に利用しているのは高齢者ですよね。それが例えば3本が1本になってしまうことになると、高齢者の方が余計出て行く、外に出て行くあれがなくなってきますので、その辺のことも考慮していただきながら、お願ひできればなというふうに思います。

○行政部長 どうもありがとうございました。それではそろそろお時間です。最後に知事からお願ひをいたします。

○知事 ありがとうございます。ご意見、ご要望も含めまして、これは長期戦略の策定のベースにもなります。また、来年度予算編成ということもでございます。今日は直接お話ししまして、いい機会かと思ひます。また時間が少なくて恐縮でございますが、どうぞまたご連絡いただければと思ひます。ありがとうございました。

○大田区長 ありがとうございます。

○行政部長 それでは以上で終了いたします。本日はご多用のところ、ありがとうございました。